

令和4年度 保育所自己評価

園名 吹田市立片山保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

心もからだも健康な子
自分の思いを表現できる子
仲間を大切にする子
意欲的に取り組める子

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	人権を大事にした保育を意識し、園内で研修を行い職員の学びの場をもった。
こどもの発達援助	A	子供の発達、姿からクラスの取組のねらいを全職員で話し合って確認し、保育を行った。
保護者との連携	A	視覚的にわかりやすい保育の伝え方の工夫を行った。
地域との連携	A	コロナの感染状況に合わせて対面だけでなく、ICTを活用して行事の開催の仕方や場所を工夫した。
運営・管理、社会的責任	A	常に服務規律を意識し、日々の業務にあたり、保育活動が円滑に行えるよう職員間で情報共有を行った。
職員の資質向上	A	園内研修を年間で計画し、救命救急や保育内容について、グループワーク等でより深く学べるようにした。
安心・安全	A	いろいろな場面を想定し、訓練を行い、より安全に保育できるように対応した。

今年度の評価

安心・安全な保育	子供たちが安心して過ごせる環境づくりのため、月1回の安全点検を行い、危険箇所や修繕が必要な物、場所について話し合い、改善に努めた。園外の散歩先についても危険箇所を確認し、園外保育での注意点を全職員で確認し情報を共有した。今後新たな散歩マップの作成、マニュアルづくりを予定している。
----------	--

来年度の目標

職員の資質の向上 身体づくり	
-------------------	--